防犯啓発冊子

犯罪から身を守るために

こんなとき あなたは どうしますか？

本冊子は、子どもが犯罪に巻き込まれないよう、日ごろからどのようなことに
気をつけていけばよいのか、危険からどのように身を守ればよいのか、
親子で読んで一緒に考えていただくことを目的として作成しています。
子どもが自分自身で身を守る方法を身につけていけるよう、ぜひ家庭でご活用ください。

新宿区教育委員会

はじめに

子どもたちが安心してすごせる社会は地域みんなの願いです。しかし、残念ながら子どもを狙った犯罪はなくなりません。

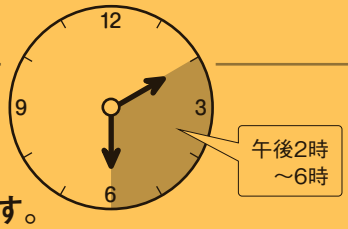
このため、子どもが一人で行動する機会が多くなる小学校への入学を機に、子ども自身が自分の身を守る方法を知り、実践する力を身につけることがとても重要です。

本冊子は、子どもが犯罪に巻き込まれる状況をいくつか想定し、その対策をわかりやすく説明しています。親子で一緒に読んで、家庭でのルールや犯罪から身を守るための具体的な方法などについて、実際の生活に照らし合わせながら、ぜひ話し合ってください。

新宿区教育委員会

犯罪マメ知識

犯罪の多い時間帯



1	**子どもの犯罪被害の多くは、午後2時から午後6時ごろに発生しています。一方で深刻な事件は夜遅くに発生する傾向があります。**
2	**駐車（駐輪）場、共同住宅、道路上で被害にあう傾向が高くなっています。**
3	**子どもが一人になる可能性が高い、下校時、塾帰り、学童クラブ帰りなどは、特に注意が必要です。**
4	**子どもは犯罪にあったとき、恐怖で体が動かなかったり声が出なかったりします。** ⇒子どもを取り巻く危険についてご家庭で一緒に考え、いざというときに備えて約束事（参考：1・2ページ「親子で確認！ 5つのお約束」）を繰り返し言い聞かせることも大切です。
5	**犯罪にあっても親に話さないこともあります。** ⇒日ごろから子どもとコミュニケーションを図り、少しでも変わった様子が見られたら、やさしく問いかけたり、早めにカウンセラーに相談したりするなどしましょう。

もくじ

1 親子で確認! 5つのお約束「いかのおすし」……1

覚えてほしい5つのお約束を紹介しています。
約束を守れるよう、親子で繰り返しお話ししてください。
部屋や玄関に貼れるように、5つのお約束についてのポスターを
はさみ込んでいますので、あわせて活用してください。

2 こんなときあなたは ー注意すべき場面と対応のポイントー ……4

9つの場面ごとに子どもの対応策がわかりやすく記載されています。
犯罪から身を守る方法について親子で読んで話し合ってください。

3 防犯クイズに挑戦 ……14

「こんなときあなたは–注意すべき場面と対応のポイント–」を
読んだ後に、クイズに挑戦してみましょう。

4 保護者の方へ 子どもに携帯電話・スマートフォンを持たせる前に…17

広く浸透してきているメールやインターネットの利用は、
便利な反面、危険な側面もあります。
携帯電話やスマートフォンを子どもに持たせる前に、
親子で話し合い、ルールを決めておきましょう。

資料 相談機関一覧 ……18

安心して相談できる窓口一覧を紹介しています。

親子で確認！5つのお約束
「いかのおすし」

保護者の方へ

約束を守れるよう繰り返しお子さんにお話ししてください。

いか

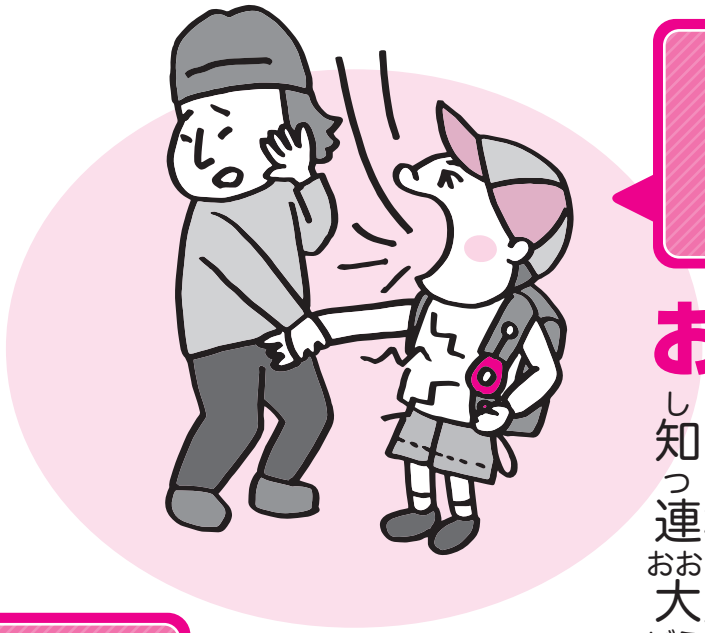
いかない

知らない人に声をかけられても
ぜったいについて行かない。

の

のらない

知らない人の車に
ぜったいに乗らない。



お

おおごえをだす

知らない人に
連れていかれそうになったら
大声で助けを呼ぶ。
防犯ブザーをならす。

す

すぐにげる

こわいと思ったら
大人のいるほうへ
走って逃げる。

「ピーポ110ばんのいえ」や
近くのお店に逃げこむ。

し

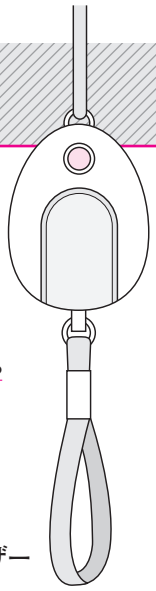
しらせる

出かけるときや
なにかあったときは
家の人に知らせる。

いざというときのために

防犯ブザー

ボタンを押したり、ひもをひっぱると、大きな音でブザーがなります。
助けを呼ぶときに使います。


防犯ブザー

お約束

- いつでも使えるよう、電池が切れていないか、一か月に一度は確認しましょう。
- 確認するときは、家の人や先生といっしょにブザーをならしてみます。
- 遊びやいたずらで、ならしてはいけません。
- なくしたり、こわしたりしないよう、大切にします。
- なくしたり、こわれたら、家の人や先生に伝えましょう。

「110番」のかけ方

こわい目にあったり、あいそうになったときは、
すぐ「110番」して、警察に連絡しましょう。
お金やテレホンカードは、必要ありません。

110番に電話すると、警察官が次のことを聞きます。
あわてず落ち着いて答えましょう。

- 何がありましたか？
- いつですか？
- 場所はどこですか？（今どこにいますか？）
- 今どうなっていますか？（どんな様子ですか？）
- 犯人は？（特徴、逃走方向など）
- あなたの住所、名まえ、電話番号は？

グレーの公衆電話からかけるとき

①受話器をとり、
②「1」「1」「0」を押します。

グレーの公衆電話

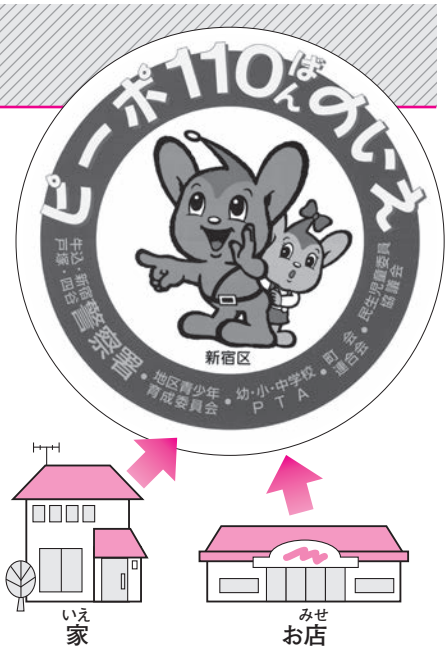
グリーンの公衆電話からかけるとき

①受話器をとり、
②左下にある赤いボタンを押し、
③「1」「1」「0」を押します。

赤ボタン
グリーンの公衆電話

ピーポ110ばんのいえ

右のマークがある家やお店は、
みなさんのことを守ってくれます。
こわい目にあいそうなときは、ここへ逃げこみましょう。
帰り道やよく遊ぶ公園の近くのどの場所に
このマークが貼られているか、
あらかじめ家の人と確認しましょう。



家
お店

こんなときあなたは

―注意すべき場面と対応のポイント―

小学生のみなさんへ

公園や行き帰りの道、家などで、こわい目にあわないよう、普段どのように行動したらいいか、きちんと覚えておきましょう。

場面1	公園で遊ぶとき	5ページ
場面2	知らない人につきまとわれたとき	6ページ
場面3	車に乗った人から声をかけられたとき	7ページ
場面4	「写真やビデオをとってあげる」と、声をかけられたとき	8ページ
場面5	「家の人がけがや事故にあった」と、知らない人がむかえにきたとき	9ページ
場面6	エレベーターに乗るとき	10ページ
場面7	だれもいない家に、一人で帰ってきたとき	11ページ
場面8	家に一人でいるとき	12ページ
場面9	知らない人から電話がかかってきたとき	13ページ

新宿区防犯マスコットキャラクター
『新宿シンちゃん』

場面 1

公園で遊ぶとき

- ☑ 公園では、一人で遊ばない。
- ☑ 「立入禁止」の場所には、ぜったいに入らない。
- ☑ 人のいない所に、ぜったいに行かない。
- ☑ 公園のトイレには、一人で入らず、友だちといっしょに入る。
- ☑ 知らない人のそばに、近寄らない。
- ☑ 暗くなる前に、家に帰る。約束した時間までに帰る。
- ☑ 帰るときは、遊んだ友だちと一緒に帰る。
- ☑ 遊ぶ友だちの名前や場所、帰る時間を家の人に知らせておく。

家庭では日ごろから

- 帰宅時刻を各家庭で決める。
- 帰宅時刻を守らせる。
- 一人で公園で遊ばせない。
- 見通しの悪いところや空き家などは、危険なので遊ばせない。
- 地域の危険な場所を確認し、そこには行かせないようにする。
- だれと遊んだのか、どんな遊びをしたかなど、子どもの話をよく聞く。

場面 2

知らない人につきまとわれたとき

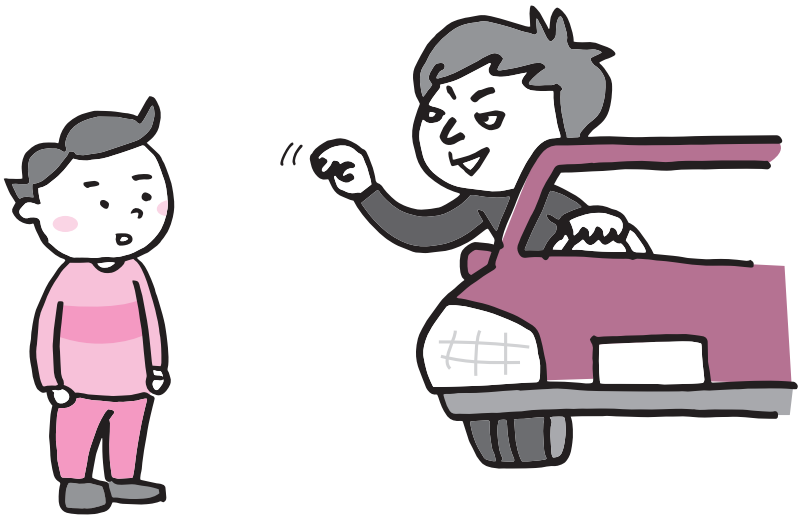
- ☑「おかしをあげる」「おもちゃをあげる」と言われても、ぜったいについて行かない。もらわない。
- ☑いつまでもついてくるときは、大声で助けを呼ぶか、防犯ブザーをならし、「ピーポ110ばんのいえ」や近くのお店に逃げこむ。
- ☑追いかけられても、物陰にかくれたりせず、かならず走って逃げる。
- ☑できるだけ一人で歩かずに、人の多い道を歩く。
- ☑帰ったら、すぐに家の人に話す。

家庭では日ごろから

- 人通りの少ない道は歩かせないようにする。
- ゲーム機などを見せて、子どもの興味・関心をひく手口があることを教えておく。
- 「ただであげる」「買ってあげる」と言われても、絶対にもらってはいけない、ついて行ってはいけないと話しておく。
- 体をつかまれたり、無理やり連れ去られそうになったら、大声で助けを呼び、「ピーポ110ばんのいえ」のステッカーの貼ってある家や、近くのお店に逃げこむようにさせる。（日ごろから逃げこめる場所を確認しておく）

場面 3

車に乗った人から声をかけられたとき



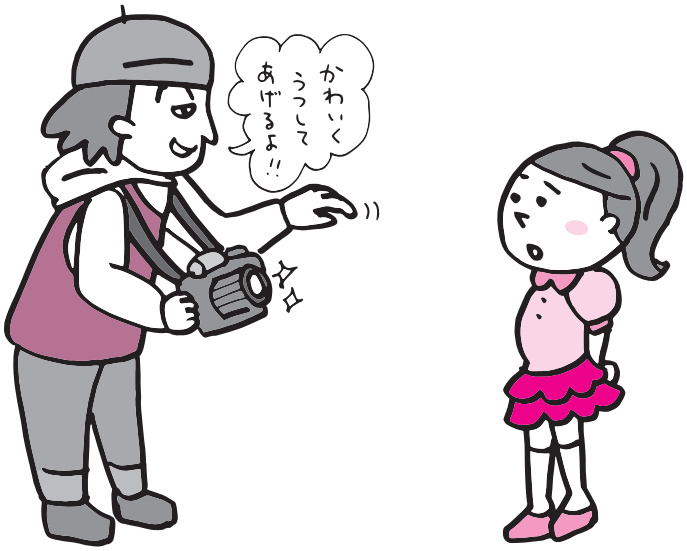
- ☑ 知らない人の車に近づかない。ぜったいに乗らない。
- ☑ 道を聞かれても、その場で教えたり、車に乗ったりしない。
- ☑ 「家まで送ってあげる」と言われても、車にぜったいに乗らない。
- ☑ 体をつかまれたり、車のほうにひっぱられたら、大声で助けを呼ぶか、防犯ブザーをならし、「ピーポ110ばんのいえ」や近くのお店に逃げこむ。
- ☑ 帰ったら、すぐに家の人に話す。

家庭では日ごろから

- 知らない人の車に不用意に近づいたり、乗ったりしないようにさせる。
- 車に乗った人から声をかけられるようなことがあったら、必ず家の人に話すようにさせる。
- 道などがわからなくて困っている人は、基本的に子どもには聞かないと教えておく。
- 一人ではなく、なるべく友だちと一緒に登下校させるようにする。
- 体をつかまれたり、車のほうにひっぱられたら大声で助けを呼び、「ピーポ110ばんのいえ」のステッカーの貼ってある家や、近くのお店に逃げこむようにさせる。（日ごろから逃げこめる場所を確認しておく）
- 友だちが知らない人の車に乗ろうとしたら、引きとめるようにさせる。

場面 4

「写真やビデオをとってあげる」と、声をかけられたとき



- ☑ 返事をせず、その場から離れる。
- ☑ 知らない人に、ぜったいについて行かない。
- ☑ しつこくされたり、体をさわられたら、
  大声で助けを呼ぶか、防犯ブザーをならし、
  「ピーポ110ばんのいえ」や近くのお店に逃げこむ。
- ☑ 帰ったら、すぐに家の人に話す。

家庭では日ごろから

- 嫌なことは「嫌だ」「やめて」と言えるようにする。
- 性別にかかわりなく性的被害を受けることがあるため、男の子にも女の子にも話をしておく。
- 知らない人に絶対について行かないように話をしておく。
- 子どもが知らない人から「写真やビデオを撮ってあげる」と声をかけられたときは、学校や警察に連絡する。

場面 5

「家の人がけがや事故にあった」と、知らない人がむかえにきたとき

- ☑ なにを言われても、知らない人に、ぜったいについて行かない。
- ☑ 近所の知っている大人や先生、警察に相談する。
- ☑ 家の人に電話をして、確かめる。
- ☑ 無理やり連れさられそうになったら、大声で助けを呼ぶか、防犯ブザーをならし、「ピーポ110ばんのいえ」や近くのお店に逃げこむ。

家庭では日ごろから

- 知らない人に絶対について行かないように話をしておく。
- だれに相談したらよいか、子どもと約束しておく。
- 家族が病気やけがで入院したり、事故にあった場合でも、知らない人に迎えを頼むことは絶対にないということを、子どもに話しておく。
- 何かあったときの連絡先を書いたメモ等をもたせ、緊急の時に電話するよう話しておく。最後のページにある「困ったときの連絡先メモ」に必要なことを記入させておく。

場面 6

エレベーターに乗るとき

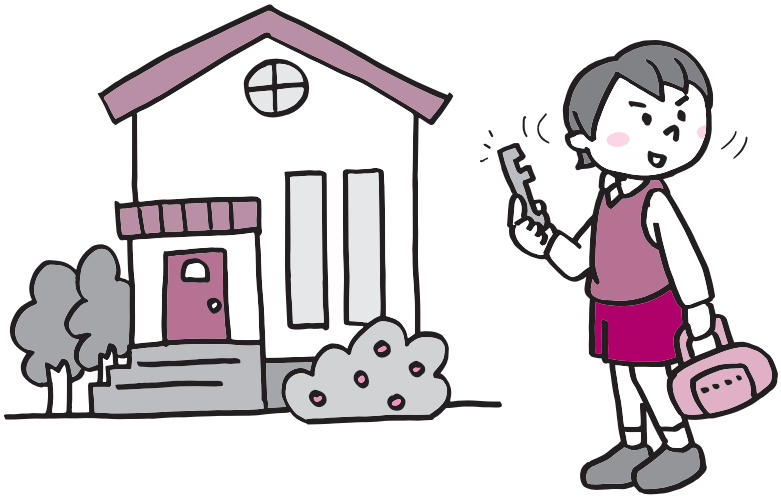
- ☑ エレベーターには、なるべく一人で乗らない。
- ☑ できるだけ、管理人か知り合いの人と乗る。
- ☑ エレベーターに乗るときは、各階のボタンや非常ボタンを押せる場所に立ち、すぐにおりられるようにする。
- ☑ 一人で乗っているときに、途中からよく知らない人が乗ってきたら、すぐにおりる。
- ☑ エレベーターをおりるときに、知らない人がついてこないか確かめる。
- ☑ 体をさわられたりしたときは、各階のボタンや非常ボタンを押し、大声で助けを呼ぶ。

家庭では日ごろから

- エレベーターには、なるべく一人で乗らせない。
- 非常ボタンの位置と使い方を教えておく。
- 知っている人と乗るよう、日ごろから話しておく。

場面 7

だれもいない家に、一人で帰ってきたとき



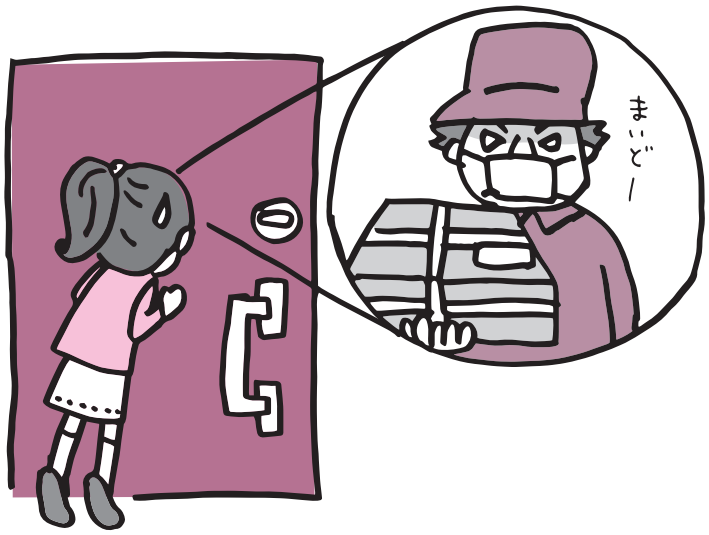
- ☑ だれかついてきている人がいないか、確認する。
- ☑ 家族がいないときにカギを開ける場合は、まわりに十分気をつける。
- ☑ 家にだれもいなくても、大きな声で「ただいま」と言い、一人でいることを知られないようにする。
- ☑ 家に入ったら、すぐにカギをかける。

家庭では日ごろから

- 鍵はかばんなどにぶら下げず、人から見えないよう携帯させる。
- 家に入るとき、不審な人がいないかあたりを確認させる。
- 施錠する習慣を身につけさせる。
- 家族が留守でも、帰ったら必ず「ただいま」と言わせる。

場面 8

家に一人でいるとき



- ☑ 家のカギをかけ、家の人が帰るまで、だれがきても中に入れない。
- ☑ 郵便や宅配便がきても、すぐには戸を開けず、ドアスコープやインターホンなどで様子を見る。
- ☑ 知らない人が家にむりやり入ってきたら、自分が外に出て、大声で助けを呼ぶ。
- ☑ 知らない人がきて、こわいと思ったら、110番をかけるか、家の人に電話をする。
- ☑ 知らない人から電話がかかってきて、「家の人はいる?」と聞かれても「(家の人は)いま、手がはなせない」などと答え、一人でいることを知られないようにする。

家庭では日ごろから

- だれかが訪ねてきたら、ドアスコープやインターホンで様子を確認させる。その後どのように対応するかについて、あらかじめ家庭内でのルールを決めておく。
- 鍵をあける場合は、ドアチェーンを利用させる。
- 親の不在を電話で確かめて強盗に入るケースもあるため、留守番の際の電話応対について、具体的な話をしながら練習させる。
- 子ども一人で留守番をさせるときは、時々自宅に電話を入れ、安全を確認する。

場面 9

知らない人から電話がかかってきたとき

- ☑ 知らない人に、自分や家族、友だちの住所や電話番号をぜったいに教えない。
- ☑ 知らない人からの電話は、「わかりません」と答えて、すぐに切る。
- ☑ 「親から電話をします。連絡先を教えてください」と答えて、相手の質問に自分では答えない。
- ☑ へんだなと思う電話があったときには、かならず家の人や学校、警察に連絡する。

家庭では日ごろから

- 知らない人からの電話は「わかりません」と答えさせ、すぐに切るようにさせる。
- 不審電話のいろいろな具体例をもとに、電話の応対ができるようにしておく。
- 電話を留守番電話にするなどして、一人のときには電話に出ないようにさせるなど、あらかじめ家庭内でのルールを決めておく。

防犯クイズに挑戦

最後に今まで確認してきたことを頭にいれて、
クイズに挑戦してみましょう！ 何問正解できるかな？

問題1

公園で遊んでいたら、知らない人が「おもしろいゲームがあるから、いっしょに行こう」と言いました。あなたはどうしますか？

ア いっしょに行く。
イ 「行きません」と言って、公園からはなれる。 （　　）

問題2

公園に行ったら、トイレに行きたくなりました。トイレのまわりは暗くて、人がいません。あなたはどうしますか？

ア 友だちといっしょにトイレに入る。
イ 一人でトイレに入る。 （　　）

問題3

公園でかくれんぼをしていたら、日が暮れて暗くなってしまいました。あなたは、まだオニに見つかっていません。この後どうしますか？

ア そこにかくれ続ける。
イ みんなの所にもどり、「そろそろ帰ろうよ」と言う。（　　）

問題4

かくれた所から出てきたあなたは、みんなのことを探しました。でも、見つかりません。あなたはこの後どうしますか？

ア みんなを探す。
イ 帰る。 （　　）

問題5

あなたは公園を出て、家の方へ歩きはじめました。とちゅうに、とても暗くて人の少ない道があります。あなたはどうしますか？

ア こわくないので、ふつうに歩く。
イ 人通りの多い道を選んで歩く。 （　　）

問題6

家のそばに、車が止まっていました。中から、だれかがこちらを見ているようです。あなたはどうしますか？

ア 知っている人かもしれないので、車に近寄ってみる。
イ 車からはなれた所を歩く。 （　　）

問題7

車の窓が開きました。中から知らない人が、「家の人が病気だよ。いっしょに病院へ行こう」と言いました。あなたはどうしますか？

ア 知らない人には近づかず、走ってにげる。
イ たいへんなので、すぐに車に乗る。 （　　）

問題8

あなたは家に帰りました。家の人は、晩ごはんの用意をしています。あなたはどうしますか？

ア すぐに公園や帰る途中で、知らない人に声をかけられたことを話す。
イ 知らない人にあったけれど、家の人には話さない。 （　　）

引用：警察庁『子ども防犯テキスト「みんなで気をつけて事件をふせごう！」』

防犯クイズの答え

問題1

イ

知らない人に声をかけられたら、すぐにその場をはなれましょう。知らない人は、こんなふうに話しかけてくることがあります。うっかり返事をしたりしないようにしましょう。

- 犬がにげたので、いっしょに探して。
- 家の人が事故にあったよ。
- おかしを買ってあげるよ。
- さいふを落としてしまった。

問題2

ア

暗い場所にはあやしい人がかくれていることがあります。友だちと二人以上でいるようにしましょう。あやしい人が声をかけにくくなります。あやしい人は、こんな場所にもかくれていることがあります。

- 自転車置き場
- エレベーター
- 駐車場
- 路地（細い道）
- 階段・おどり場・屋上

問題3

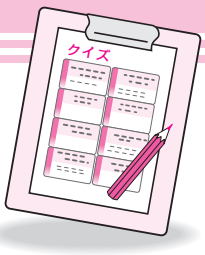
イ

暗くなると、こわい人たちが悪いことをしやすくなります。日が暮れる前に、みんなでまとまって帰りましょう。一人で遊んでいる別の子がいたら、「早く帰ろう」と声をかけましょう。

問題4

イ

夢中になって遊んでいると、みんなが帰ってしまっても気がつかないことがあります。一人にならないように、友だちはどこにいるか、確かめながら遊びましょう。友だちがいなくなったときは、一人で探したりせず、すぐに家に帰りましょう。帰ってから家の人に話せばだいじょうぶです。



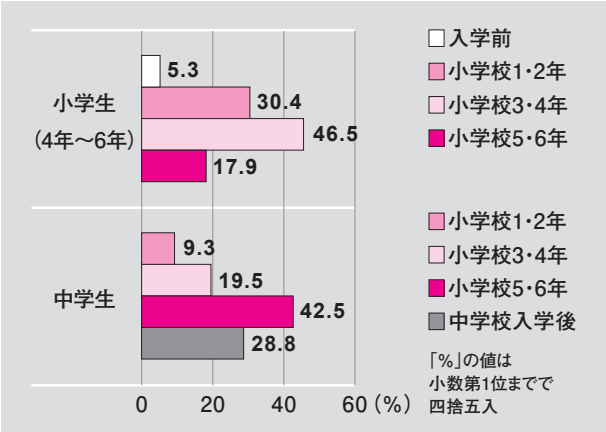
問題 5 イ	細い道や人の少ない道は、なるべく通らないようにしましょう。どうしても通らないと帰れないときは、けいたいライトで道を照らして歩けば安心です。かくれているあやしい人をみつけやすくなります。あやしい人がいたら、なるべく近づかないようにして通りすぎましょう。こわくなったら、すぐににげること。防犯ブザーやホイッスルを使えるように用意するのもいいでしょう。
問題 6 イ	車に近づいたら、中から知らない人に引っぱられてしまうことがあります。そのまま車でどこかへ連れていかれるかもしれません。あやしい車には絶対に近寄らないようにしましょう。
問題 7 ア	「あやしい人だ。こわい」と思ったら、すぐに大声を出したり、防犯ブザーをならしたり、「ピーポ110ばんのいえ」ににげたりできるようにしましょう。にげるときは、人が多そうな場所に向かって走りましょう。
問題 8 ア	あやしい人を見かけたり、話しかけられたり、こわい目にあったりしたら、必ず家の人に話しましょう。もしあやしい人に「家の人に話したら、もっとこわい目にあわせる」と言われても、だいじょうぶです。家の人にすぐに話せないときは、学校の先生や警察に知らせましょう。

引用：警察庁『子ども防犯テキスト「みんなで気をつけて事件をふせごう！」』

保護者の方へ 子どもに携帯電話・スマートフォンを持たせる前に

携帯電話・スマートフォンを使ってメールやインターネットを利用することは、とても便利にコミュニケーションを図る手段として子どもたちに広く浸透していますが、トラブルも多く発生しています。
安全に利用するために親子でその危険性について話し合い、子どもを有害情報から守りましょう。

子どもの携帯電話・スマートフォン所持事情



- 上のグラフは、令和元年度に新宿区教育委員会が実施した「携帯電話・スマートフォン利用について」のアンケートにおいて、自分専用の携帯電話またはスマートフォンを持っている児童・生徒のうち、**「いつから、自分専用の携帯電話・スマートフォンを持ったか」**を尋ねた結果です。
- 学校種別にみると、中学生では、小学校5・6年生以降に持つようになった生徒の割合が71.3%であるのに対し、小学生（4年～6年）では、82.2%が小学校4年生までに持つようになったと回答しています。携帯電話・スマートフォンを安全に利用するために、小学校の早い段階から、その危険性について話し合うことが大切です。

何のために持たせますか？

インターネットにすぐに接続できる携帯電話・スマートフォン

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）への書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ
スマートフォンの無料通話・メールアプリで特定の子どもへの暴言や悪口を流し、トラブルが起きる。通話のグループから退会させる行為もトラブルの原因になる。

SNSでの個人情報流失
スマートフォンで撮影した写真をSNSなどに掲載し、それが様々なところに転送されると撮影した位置情報が他人に知られ、ブログ等の情報と組み合わせると、名前や住所等の個人情報の流失につながる。

オンラインゲームの長時間利用による日常生活への悪影響
子どもが放課後や夜にゲームに熱中するあまり、授業に集中できなかったり、アイテムを購入するため多額のお金を使ったり、生活面での問題が起きる。

我が家での話し合い

東京都の条例では、

- ○フィルタリングサービス等を利用する。
- ○利用状況を適切に把握する。
- ○インターネット利用の危険性について必要な知識の習得に努める。
- ○利用ルールを定めるなど適切な利用に努める。

ことが保護者の責務として記されています。
「東京都青少年の健全な育成に関する条例」より

1 フィルタリングをつけましょう。

「うちの子どもは大丈夫」と思わずに、犯罪やトラブルに巻き込まれないための予防が必要です。
一定のWebサイトの閲覧を制限するフィルタリング機能や、子どもに悪影響を与えるものについて保護者が利用制限をかけることのできるペアレンタルコントロール機能を利用するなどして、有害情報から子どもを守る手だてを講じましょう。

2 使うルールを決めましょう。

〈ルール例〉

- □自分の電話番号やメールアドレス、SNSのIDをむやみに教えない。
- □メールやSNSに人の悪口は書き込まない。
- □勉強中、食事中、歩行中は触らない。
- □保管場所はリビングにする。
- □おかしなメールや知らない人からのメールは必ず親に見せる。
- □SNSは1日1時間以上利用しない。
- □毎週水曜日は電源を切る。
- □寝室では使わない。
- □インターネットで知り合った人とは絶対に会わない。

ルールは各家庭の事情により、異なります。
大切なのは、お子さんとよく話し合うことです。

資料

相談機関一覧

生活のなかで不安を感じたとき、または万が一のときなどに、
安心して相談できる窓口があります。ためらわずに連絡してください。

子どもの様々な悩みについての相談

- 新宿子どもほっとライン（いじめ相談専用電話）…… ☎ 3232-2070
  月～金／午後5時～午後10時、土・日・祝・年末年始／正午～午後10時
- 新宿区立教育センター教育相談室（相談専用電話）…… ☎ 3232-2711
  月～金／午前9時～午後5時
- 学校問題支援室（いじめ、不登校などの相談電話）…… ☎ 5273-4125
  月～金／午前9時～午後5時

- 新宿区立子ども総合センター（相談専用電話）…… ☎ 3232-0675
  月～土／午前8時30分～午後7時、日・祝／午前8時30分～午後5時
- 新宿区立信濃町子ども家庭支援センター（相談専用電話）※…… ☎ 3357-6855
- 新宿区立榎町子ども家庭支援センター（相談専用電話）※…… ☎ 3269-7345
- 新宿区立中落合子ども家庭支援センター（相談専用電話）※…… ☎ 3952-7752
- 新宿区立北新宿子ども家庭支援センター（相談専用電話）※…… ☎ 3362-4152

※各子ども家庭支援センターの電話相談時間
　月～金／午前8時30分～午後5時
　土曜日の電話相談は子ども総合センターで受け付けます。

- 東京都教育相談センター（教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン）…… ☎ 0120-53-8288
  24時間対応

- 東京都児童相談センター（よいこに（4152）電話相談）…… ☎ 3366-4152
  月～金／午前9時～午後9時、土・日・祝／午前9時～午後5時
  聴覚・言語障害者専用相談FAX番号 … ☎ 3366-6036
- 子供の権利擁護専門相談事業（話してみなよ－東京子供ネット－）…… ☎ 0120-874-374
  月～金／午前9時～午後9時、土・日・祝／午前9時～午後5時

- 24時間子供SOSダイヤル …… ☎ 0120-0-78310
  24時間対応

心の問題、身体の問題など青少年の様々な悩みについての電話相談

- 東京都立小児総合医療センター こころの電話相談室…… ☎ 042-312-8119
  月～木／午前9時30分～午前11時30分、午後1時～午後4時30分
- 東京都立中部総合精神保健福祉センター（こころの電話相談）…… ☎ 3302-7711
  月～金／午前9時～午後5時

相談機関一覧〈つづき〉

弁護士会の子どもについての電話相談

- 東京弁護士会子どもの人権110番…… ☎ 3503-0110
  月～金／午後1時30分～午後4時30分、午後5時～午後8時
  土／午後1時～午後4時
- 第二東京弁護士会子どもの悩みごと相談（キッズひまわりホットライン）…… ☎ 3581-1885
  火・木・金／午後3時～午後7時

インターネット、携帯電話等の被害に関する相談

- 東京都「東京こどもネット・ケータイヘルプデスク（こたエール）」… ☎ 0120-1-78302
  月～土／午後3時～午後9時
  インターネットでのメール相談は24時間
- 新宿消費生活センター…… ☎ 5273-3830
  ※金銭を払ってしまった場合
  月～金／午前9時～午後5時

少年に関わる総合的な相談

- 警視庁少年相談室（ヤング・テレホン・コーナー）…… ☎ 3580-4970
  24時間対応
- 警視庁新宿少年センター（電話相談）…… ☎ 3227-8335
  月～金／午前8時30分～午後5時15分
- 四谷警察署（少年係）…… ☎ 3357-0110（代表）
- 牛込警察署（少年係）…… ☎ 3269-0110（代表）
- 戸塚警察署（少年係）…… ☎ 3207-0110（代表）
- 新宿警察署（少年係）…… ☎ 3346-0110（代表）

困(こま)ったときの連絡先(れんらくさき)メモ

おうちの ひとの でんわばんごう	(名(な)まえ：　　) ☎ (名(な)まえ：　　) ☎ (名(な)まえ：　　) ☎
学校(がっこう)の でんわばんごう	学校(がっこう) ☎
そのほか おうちの 人(ひと)との おやくそく	

※おうちの ちかくの「ピーポ110ばんのいえ」の ばしょを かくにんしておくと いいね！

■　しんじゅく安全・安心情報ネットに登録しましょう　■

新宿区では、皆様が安全で安心な生活を過ごせるために、
不審者情報・事件情報などを、携帯電話やパソコンに配信しています。ぜひご活用ください。
（登録は無料です。通信料は利用者のご負担となります。）

登録方法については、以下のURLをご参照ください。
https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/kikikanri01_000002.html

しんじゅく安全・安心情報ネット	検　索

こちらのQRコードから、空メールを送信してください。

発行年月　令和2年3月発行

発　　行　新宿区教育委員会事務局教育調整課
新宿区歌舞伎町1-4-1
電話 03-5273-3074（直通）

印刷番号　2019-18-5501

古紙パルプ配合率70％再生紙を使用